

第2回

テーマ

はたらかナイト!

1月7日と2月18日の2回にわたって実施する東京での移住セミナーの第2回。
 あいちの山里への移住を「働く」ことをテーマに検討いただく第2回目は、
 都市部に近い田舎の特徴を活かして
 独自性に富んだ新規事業を展開する様々な企業をご紹介します。
 あいちの山里だからこそ育まれたイノベーション展開の話が盛りだくさんのセミナーです。

開催日時

2018年2月18日(日) 17:15~19:30
 (受付・開場16:45~)

開催場所

ふるさと回帰支援センターセミナースペースA
 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F
 【アクセス】<https://www.furusatokaiki.net/access/>



参加
無料

申込
不要



セミナー「あいちの山里」プレゼンター



東栄町

三信鉱工業株式会社
取締役社長

三崎 順一さん

化粧品ファンデーションの原料として、世界シェア約50%を占める絹雲母(セリサイト)を採掘・精製・加工しています。
 現在では日本で唯一、東栄町振草地区だけで採掘される絹雲母。
 そのきっかけは、金の鉱脈を見つけたて始めた資源開発からでした。
 今では製品「三信マイカ」は世界中の化粧品メーカーに利用されるようになりました。
 また「セリサイト鉱山見学ツアー」を実施し、貴重な体験を皆様に提供しています。



新城市

瀧川オブラート株式会社
代表取締役

瀧川 紀幸さん

フクロ型オブラートの国内シェア90%を占める瀧川オブラート。
 自社開発のオブラート加工専用機での製造で、他社にまねできない
 技術を誇ります。その技術を生かして生み出されたのがオブラート。
 でんぷんと水という天然素材で作られたオブラートに可食ペンを使い、
 食品に貼り付けてデコレーションする商品で皆様の食卓を彩ります。



設楽町

愛知県淡水養殖漁業協同組合
常務理事

米花 晃雄さん

川魚の甘露煮生産量日本一を誇る愛知県淡水養殖漁業協同組合は、
 中山間地域におけるマス類養殖業者が中心となって設立されました。
 アマゴやイワナの味のよさにホウライマスの生育の早さを
 バイオテクノロジーで交配し、長所を両立させて生まれた
 絹姫サーモンや、年間600トンにおよぶ淡水魚の
 活魚販売や加工を行っています。



豊根村

豊根フィッシュファーマーズ

久保田 智也さん

2011年豊根村職員と「起爆剤になるような、高級感あふれる地元の特産品をつくらう」と話し合っ実現した
 チョウザメ養殖。2016年に村内の旅館や飲食店で、
 「ロイヤルフィッシュ料理」として提供を始めたほか、
 珍味の一つとされるキャビアの販売を計画しています。

お問い合わせ先

三河の山里 サポートデスク TEL0536-32-6100

(受付時間 平日10:00~17:00)

【HP】<http://spdesk.mikawayamazato.jp/>

【mail】info@spdesk.mikawayamazato.jp

担当者:やま・ひと・しごと広域連携推進事業 村松・吉田

【主催】



共催: NPOふるさと回帰支援センター

本業務は愛知県から株式会社CBCクリエイションが
 業務委託を受けています。

2018 移住・仕事セミナー

あいちの山里で暮らそう、働こう!

東京オフィス2018年第55回ふるさと暮らしセミナー

